

# テラスホテルズハンド参入

## トライアウト 20年 女子日本しへ 来月浦添市で

ザ・テラスホテルズ(國場幸伸社長)は日本ハンドボールリーグ女子へ2020年の参入を目指している。選手を集め、19年度から大会出場など本格的に動き出す考えだ。球団は「中学、高校生の目標となるチームをつくり、県内で動き

ながら競技を続けられる環境を整えたい」と意気込む。10月20日、浦添市民体育館でトライアウトを行う。チームづくりは、従業員確保が難しくなったこともきっかけだ。ホテル業は女性職員の割合が多く、沖縄の関係者らと話し合い、具体的な目標があった方

とから同競技に注目した。13年ごろから、ハンドボールでは県内初の企業チーム結成の構想を温めてきた。だが、所属選手は2人にとどまるなどチームづくりは難航した。そのため県協会の関係者らと話し合い、「具体的な目標があった方



日本ハンドボールリーグ女子への参入を目指すザ・テラスホテルズの河崎大樹マネジャー(左)と高良政幸監督(右)那覇市の同社

が人も集めやすいと判断。今年7月までに、20年に参入する方針を固めた。球団初のトライアウトは、高校3年生以上を対象で、10~15人を採用したい考え。個別面談なども含め、最終的には30人規模にまで選手を増やす構想だ。採用者は、名護市のザ・ブセナテラスでベッドメーカーやレストランスタッフとして働きながら、同市の体育館などで1日3時間ほど練習する。選手引退後も継続して雇用することで、安定的に生活できる環境をつくるなど、企業チームとしての強みを生かす方針だ。

できるチームにしたい。県内は個人技を使う選手が多いので、個性を発揮できるチームカラーにしたい」と夢を描く。

球団の河崎大樹マネジャー(31)と高良監督は今年7月、設立2年目の17年に女子リーグ参入を実現した富山県の「プレステージ・インターナショナルアランマール」を訪問し、球団設立のノウハウを学ぶとともに練習風景も視察した。

河崎マネジャーは「わが社は沖縄に根付く企業でもあり、スポーツ振興にも貢献したい。競技が入り口となり、観光業の人材も育てほしい」と期待する。

トライアウトの締め切りは10月10日。問い合わせや申し込みは同社、電話098(864)1191。